

## プラネタリウムでリモート観望会をやってみた

### 1. 「過去と未来」と「現在」の融合を…

「今日はプラネタリウムで星が見えますか？」

今では少なくなった質問ですが、正直、なかなか答えにくいものです。

プラネタリウムでお見せしているのは「○月△日に撮影した星」の映像や、「今夜、見える星」の予想図。「過去と未来」だけで、今「現在」のリアルな星ではないからです。

リアルな星をリアルタイムで見たいなら観望会があります。望遠鏡で見えているのは、「現在」の星です。ただ、その「現在」は望遠鏡を覗いている人だけのもの。プラネタリウムみたいに「みんなで同時に同じ星を見る」ことはできません。そんなの当たり前…？

でも、「当たり前」を突き破った時、そこに新たな感動が生まれます。

2020年11月、「過去と未来」に「現在」を融合させるプラネタリウムの新しい試みをしました。本当に「今日はプラネタリウムで星を見ます」と言えるイベントでした。

題して「姫路市『星の子館(やかた)』惑星ライブ」(図1)。

「なぜ星の子館なの？科学館にも天文台があるのに！」ですって？



図1 星の子館から送られたリアルタイムの火星  
火星の左に星の子館の望遠鏡を映している。

### 2. プラネタリウムで観望会をするには？

プラネタリウムで本物の天体のリアルタイム画像を投影するには、望遠鏡からの映像信号をなんとかして、プラネタリウムホールに送る必要があります。

残念ながら科学館の屋上天文台にある望遠鏡とプラネタリウムは信号を送る線が繋がっていません(なんとということでしょう！)。

そこで、姫路市宿泊型児童館「星の子館(やかた)」の天文台からの映像をインターネットを介して受信することにしたのです。

すぐそこにある望遠鏡じゃなくて、80kmも離れた天文台と繋いじゃう、リモート観望会です！

言うほど簡単じゃありません。なにせ科学館のプラネタリウムはスタンドアロン型、ネットと繋がっていないんですから！

そこをなんとか無理やりネットと繋いで、11月14日(土)と15日(日)(石坂が担当)、21日(土)(西野が担当)の3日間、リモート観望会をプラネタリウムで開催しました。ターゲットは火星、木星、土星。晴れますように…

### 3. プラネタリウムでリアルタイムの星を見た…

晴れました！3日とも！奇跡！

星の子館で撮影されたリアルタイムの火星、木星、土星(図2)が次々にプラネタリウム・ドームに映されていきます。

揺れてる…。正直、写真集で見ると、あるいはハッブル宇宙望遠鏡が公開しているような、キレイな画質ではありません。

でも、まさに、望遠鏡を覗いた時に見る雰囲気です。

「過去」でも「未来」でもなく、今「現在」の惑星の姿をみんなで共有できました。

少なくとも担当者としては、とても楽しい、そして有意義な時間でした。

※姫路市「星の子館」(図3)は全国的にも珍しい宿泊型の児童館で、毎日、観望会を行っています。「児童館」ですが、大人だけでも利用できます。

大阪から1時間もせずに行ける星のキレイな場所ですので、今度、遊びに行ってみてください。



図2 星の子館から送られたリアルタイムの土星環に落ちる本体の影もはっきりに見えた！



図3 星の子館の蓮岡さん(左)と原田さん(右)

石坂 千春(科学館学芸員)